第二号議案

県立高校への全国募集の導入について

令和七年度高等学校入学者選抜から、県立日田林工高等学校林業科に全国募集を導入することを決定したいので議決を求める。

令和六年八月二十三日提出

大分県教育委員会教育長　山　田　雅　文

提案理由

県立日田林工高等学校林業科に、県内外の生徒が切磋琢磨できる環境の整備や、入学者増による学校の活性化を図ることなどの理由から、全国募集の新規導入について決定したいので提案する。

県立高校への全国募集の導入について

高校教育課

１．概要

地域において特色ある学びを実践する高校で、県外から意欲ある生徒を募集し、学校の活性化を図るため、新たに県立高校に全国募集を導入する。

２．新規導入校

日田林工高校林業科

３．背景

県内の林業就業者数は昭和５５年以降一貫して減少傾向にあったが、近年は持ち直しの状況にある。過去最も少なかった平成１７年と比較して、令和２年度は300名強増加している。特に、２０代～３０代の就労者の増加が顕著であり、多くの山林が利用期を迎える中、今後さらに県内の林業を引き継ぐ人材の確保が求められている。

日田林工高校林業科は、令和５年度にスマート林業教育の導入を促進することを目的とした林野庁委託事業にも採択され、スマート林業教育プログラムの開発を行った。現在も、地域企業との連携・協働により、高性能林業機械、測量ドローン等の実習を通して、林業の担い手の育成に取り組んでいる。

４．期待される効果

○県内外の生徒が切磋琢磨できる環境づくりや、入学者増による学校の活性化につながる。

○学校の特色化や魅力化のさらなる推進とともに、学校づくりへの地域の積極的な参画につながる。

５．運用

○令和７年度高等学校入学者選抜から、林業科において全国募集を実施する。

６．学校の特色

○県内唯一の林業科を有し、産業人材の確保・育成につながる教育やものづくり教育を実践する専門高校。地元中学校での出前授業や千年あかりボランティア活動等、地域との連携により地域社会の持続的発展や活性化に主体的に取り組む。

【林業科】

・森林・林業、林産物利用に関する基本的な知識や技術を習得するとともに、木材の生産だけでなくスマート林業機器を用いた地域の林業事業体との協働による授業に取り組み、森と人との調和をめざした学びを実践する。

※日田林工高校林業科の全国募集に係る募集人員は、令和６年９月公表予定の「令和７年度大分県立高等学校入学定員」において発表する。